

ジェネリック
医薬品

体験談

医師や薬剤師に相談できる? できない?

ジェネリック
医薬品とは

医療機関で処方される『先発医薬品（新薬）』の特許が切れたあと、同じ有効成分で製造され、効き目や安全性が先発医薬品と同様であると国で認められた薬のこと。
一般的に開発費用が大幅に削減できるので、先発医薬品に比べて安価になります。

健保組合では『ジェネリック医薬品の使用について、医師や薬剤師に相談しましょう』とご案内しています。
実際に患者さんから相談してみた結果はどうか、みなさんの体験談をご紹介します。

いまの薬がBEST!?

Sさん (家族・女性・50代・横浜市)

気管支喘息、アレルギー性鼻炎などで、かかりつけの内科に通院

薬(4種類)は、かかりつけの調剤薬局で処方



お医者さんにジェネリックの話をしたところ、いまの薬に落ち着くまで時間がかかったし、症状も安定(4~5年服用)しているので、むやみに変えないほうがよいと言われました。

薬剤師MEMO

お医者さんと薬について話ができてよかったですね。
Sさんご自身が治療に積極的だということが、お医者さんにもよく伝わっていると思います。これからもお医者さん任せにせず、ご自身も関心をもって治療に専念してください。(播磨病院 小野薬剤師)

ジェネリック医薬品を試したい方へ…

ワンポイントアドバイス

- ①体調や症状の変化を見逃さないために、**まずは一種類から**。
- ②ジェネリック医薬品には「**お試し期間**」があります。医師や薬剤師に相談して上手に利用してください。

※処方せんの『ジェネリック医薬品への変更不可』欄に医師のサインがなければ、調剤薬局の薬剤師と相談してジェネリック医薬品を選ぶことができます。

お医者さんに言い出しにくい

Kさん (家族・女性・50代・横浜市)

最近、主治医が変わり新たに薬を処方されました。飲み残した薬の事など意見も言い出しにくいので、ジェネリックの話を持ち出すのは難しいです。

主人も高血圧症で長期間薬を飲んでいますが、薬の事には無関心なので、お医者さんからジェネリックをすすめてもらえると助かります。



胆のうポリープ、ALP高値などで、大きな病院の内科を受診

薬(2種類)は、院内の薬局で処方

※ALP(アルカリホスファターゼ): この値が高い場合、肝臓や胆道系の病気の疑いがあります

薬剤師MEMO

主治医が変わられて、お薬も飲み始めたばかりとのことですので、いまはお医者さんと信頼関係を築くことを第一に考えてみてはいかがでしょうか。また、院内薬局の薬剤師に相談することもよい手段ではないでしょうか?機会をみて「飲み残しの薬」や「ジェネリック医薬品」の話もしてみてください。(播磨病院 小野薬剤師)

ジェネリック医薬品の体験談 ご質問 ご意見 募集中

使ってみた感想や自分はこうして変更した、使ってみたけど不安…など、どんなことでも結構です。お待ちしております♪
ご応募いただいた方には、ささやかですが記念品を進呈いたします!

投稿方法

- 中綴じの所定ハガキ
- 社内メール: ㊦ 健保適用給付グループ
- ホームページ: お問い合わせメールフォーム <http://www.ihikenpo.or.jp>